

製品名: CD11b (8E1) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08196**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	127kDa

抗原情報

遺伝子名	ITGAM
別名	CR3A; MO1A; CD11B; MAC-1; MAC1A; SLEB6;
遺伝子 ID	3684.0
SwissProt ID	P11215
免疫原	ヒト CD11b の合成ペプチド

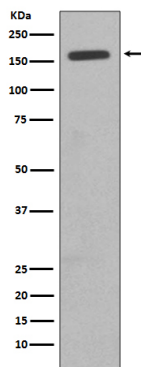
背景

ITGAMはCD11BやCR3Aとも呼ばれ、インテグリン α 鎖ファミリーに属します。単球、マクロファージ、顆粒球の様々な接着相互作用、ならびに補体被覆粒子の取り込みに関与しています。ITGAMは、補体第3成分のiC3bフラグメントの受容体であるCR-3と同一です。C3bのR-G-Dペプチドを認識すると考えられます。インテグリンITGAM/ITGB2は、単球、マクロファージ、顆粒球の様々な接着相互作用、ならびに補体被覆粒子や病原体の取り込みに関与しています (PubMed:9558116、PubMed:20008295)。ITGAMは、補体第3成分のiC3bフラグメントの受容体であるCR-3と同一です。C3bのR-G-Dペプチドを認識すると考えられます。インテグリンITGAM/ITGB2は、フィブリノーゲン、因子X、ICAM1の受容体でもあります。フィブリノーゲン γ 鎖のP1およびP2ペプチドを認識します。好中球の遊走を制御します (PubMed:28807980)。 β サブユニットITGB2/CD18と共役し、CD177-PRTN3を介したTNF刺激による好中球の活性化に必要です (PubMed:21193407)。血管外遊出好中球における貪食誘導性アポトーシスを制御する可能性があります (類似性による)。マスト細胞の発達に関与している可能性があります (類似性による)。ミクログリアにおいてTYROBP/DAP12と共役し、脳の発達中に起こる神経細胞のアポトーシスを促進するミクログリアスーパーオキシドイオンの産生を制御する必要があります (類似性による)。

研究分野

細胞接着分子 (CAM)、造血細胞系統、白血球の内皮透過移動、アクチンと細胞骨格の調節、

画像データ



TF1細胞溶解物中のCD11b発現のウェスタンブロット分析。